

SDGs経営とSOMPO気候アクションの概要

- SOMPOのパーパス実現に向け、「SDGs経営」を新たな経営基盤に位置付け、本業を通じた社会課題解決により経済価値と社会価値の創出に取り組んでいる。
- 「経済・社会・環境が調和したグリーンな社会づくりへの貢献」をマテリアリティに特定し、「SOMPO気候アクション」を掲げている。



SOMPO気候アクション

①気候変動への「適応」

協働を通じた
商品・サービスの開発・提供により、
社会のレジリエンス力向上を支援

- AgriSompolによる持続可能な農業への貢献
- 防災・減災に資する商品開発・新事業
- 企業向けBCP策定支援サービス など

②気候変動の「緩和」

グループの温室効果ガス排出量
ネットゼロ実現(2050年)

- グループの再生可能エネルギーの導入(2030年70%)
- 生物多様性などに配慮した持続可能な調達
- クリーンエネルギー促進に資する商品開発・新事業
- 企業向け脱炭素促進支援サービス など

③社会のトランスフォーメーションへの貢献

NPOなどのステークホルダーとの協働や
金融機関としてのエンゲージメントを通じて
社会の移行に貢献

- 投資先企業へのエンゲージメント
- ルールメイキングや政策提言への積極的関与
- 環境人材の輩出 など

～グリーントランジションプラン（保険引受・投融資）～

- SOMPO気候アクションの具体化に向け、自社のグリーン移行プラン（保険引受・投融資）を公表
- 社会のトランスフォーメーションの貢献に向け、国内損害保険会社で初めてGFANZ傘下の3つのネットゼロ・アライアンスに加入【NZIA（保険引受）、NZAOA（投融資）、NZAM（アセットマネージャー）】

保険引受での 脱炭素化促進

再生可能エネルギー
促進

NZIA・PCAF
への参加

高排出引受制限強化

2022/5～

- 石炭火力発電所（新設・既設）への新規の保険引受を停止
- オイルサンドと北極野生生物保護区での保険引受を停止

2022/6～

- 2025年1月までにGHG削減計画のない石炭を主業（売上の30%以上）とする企業に対する保険引受を停止

資産運用での GHG排出量の削減

投資先への
エンゲージメント
強化

NZAOA・NZAM
への参加

SOMPOグループ^①排出量削減

スコープ1-3
（投融資を除く）

2030年60%削減
（2017年度比）

加えて

スコープ3
（投融資）

2025年25%削減
（2019年度比）